



説教  
現代の神学者紹介・第七回  
旧約聖書に聴く  
教会、この地とともに⑥  
SDGsについて考える⑭  
(目標4)  
次世代へのメッセージ⑱

こいのにあ

教会ニュース

09

2023 | No.849

- 1 主イエスの同伴のもとで……名嘉早苗
- 2 パウル・ティリヒ……小林宏和
- 3 第五戒……三好 明
- 4 阿倍野の地で福音を伝え続けて……永岡正己
- 5 だれひとり取り残さない……丸 徹
- 6 御言葉を聴き取り、語ることの苦勞と喜び  
…山本 清
- 7 継承と克服…伊藤明彦
- 7 暑さに負けない熱い誓いの声が…梅本隆司
- 8 教会堂を描き続けて…徳永静子
- 8



## 主イエスの同伴のもとで

名嘉早苗

マタイによる福音書

28章20節b

口語訳

見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなた  
がたと共にいるので  
ある。

弟子たちを、すべての国民(すべての人々)に向けて派遣した時、主イエスは、彼らに約束を与えられました。彼らがイエスのご命令に従って、その使命を果たす働きに出て行くとき、彼らには常に主ご自身が伴ってくださるという約束であります。この約束のもとで、それぞれの時代のイエス・キリストの教会は、主イエスにある神の恵みを、世のすべての人々に分け隔てなく証しする使命を担ってきています。

そして、今日、わたしたちの時代もまた、この主イエスの約束のもとで、わたしたちの時代の人々に主の恵みの証人としてその務めを果たしつつあります。

主イエスは神のみもとから世に到来し、罪によって神から離れ、神にある永遠の命を失っていた人類のため、ご自身の十字架の死においてそのすべての罪をあがなってください、神との永遠の交わりに入れて下さいました。この恵みにより、今や、わたしたちは、永遠の命の希望の中を生かされ、喜びと平安を受けて、人生の一日一日を与えられています。そして、恵みを受けた者として、恵みを証しする光栄ある使命をも与えられて、全地の人々に対する神の救いの御業にあずかっています。

主イエスから与えられている尊い使命を果たしつつ人生を送れるというのは、大変幸いなことでもあります。主イエスが聖霊においてわたしたちと共にいてくださり、わたしたちの中でご自身の御業を行ってくださるのです。喜びをもって主イエスに自らをささげ、主イエスの御業の器となれますように。

さて、様々な危機が現われる今の時、わ

たしたちは、神によるイエス・キリストの救いの恵みの中に、しっかりと踏みとどまっているでしょうか。

今の時は、わたしたちの信仰の足元を揺るがす試練の時であると、わたしたちは感じています。このような時、何が求められているでしょうか。

静まって、神に対する信頼において、また、神にゆだねる信仰において、なすべき生活を落ち着いてなすことではないでしょうか。

ここにおける命も、神の国を相続する永遠の命も神から来ます。神が完成へと導いてくださいます。

神は、わたしたちを、世(神との和解へと招かれているすべての人々・いまだ神に敵対している人々)のために、神に対して執り成しをする祭司の国と定めておられます。

世界のあちこちで、内乱や、侵略戦争、核開発、戦争の準備などが進められており、再び全世界的な戦争の危機が高まっている時、主イエスの教会は、祭司の務めを倦むことなく果たしていかなければならないのではないでないでしょうか。

神の全き平和の支配する御国を、神は、ご自身のご計画に従ってついに実現されることでしょう。しかし、その完成される神の御国の到来までの間、神は、ご自身に敵対するこの世を見捨てることなく、福音の宣教をする主イエスの教会を通して、悔い改めへと招きたまいます。神の限りない愛が向けられている世の人々に対して、神の愛を証しし、神の救いを伝え続けてまいりましょう。

かめやま  
(亀山教会応援教師)